

# 平成30年度 滋賀県ひとり親家庭等生活実態調査

## I 調査の概要

### 1 調査目的

- ひとり親家庭等（母子家庭、父子家庭、ひとり暮らし寡婦）の自立と生活の安定を目指した施策を推進するにあたり、生活や就労状況等の実態を把握し、今後の施策を検討する上での基礎資料とする。
- また、「淡海子ども・若者プラン」の中に位置づけられる母子及び父子並びに寡婦福祉法第12条に基づく「自立促進計画」が平成31年度をもって計画期限となるため、次期計画の策定にあたり必要な基礎資料を得ることを目的とする。

### 2 調査対象世帯（者）

- 母子家庭：父のいない児童が、その母によって養育されている世帯およびその母。
- 父子家庭：母のいない児童が、その父によって養育されている世帯およびその父。
- ひとり暮らし寡婦：40歳以上65歳未満の配偶者のいない女子で、現にひとり暮らしの者。未婚でかつ子のいない者は除く。

### 3 調査時期と調査方法

- 調査時期：平成30年9月19日～9月30日
- 調査方法：各市町の平成30年4月1日現在のすべてのひとり親家庭等の世帯（者）数に基づき、層化一段抽出法により、母子家庭、父子家庭、ひとり暮らし寡婦ごとに各市町の調査対象世帯（者）数を算定。この算定数に基づき無作為に抽出された世帯（寡婦は全数）に対し、調査票の郵送調査により実施。

### 4 回収結果

区分	対象世帯数	調査票配布数	有効回答件数	有効回答率
母子家庭	13,387	3,118	1,073	34.4%
父子家庭	1,173	634	234	36.9%
ひとり暮らし寡婦	248	236	133	56.4%
合計	14,808	3,988	1,440	36.1%

### 5 集計における注意事項

- 集計結果は、すべて小数点以下第2位を四捨五入しており、比率の合計が100%とならないことがある。
- 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%とならない場合がある。
- 回答比率（%）は、無回答を含めたその質問の回答者数を基数（N=Number of case、集計対象となるサンプル数）として算出している。
- 本文中の表などにおいて、選択肢が長い文章となる際に簡略化している場合がある。
- 前回調査（平成26年度実施）と比較している項目がある。

平成31年1月

滋 賀 県

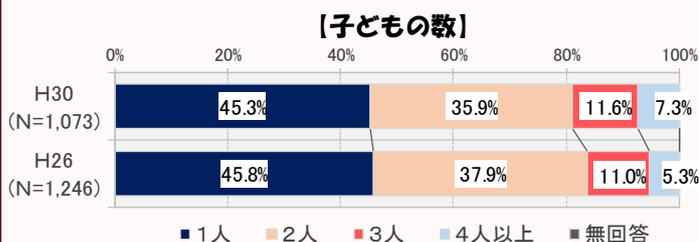
# II 母子家庭の生活実態

## 1 母子家庭の世帯数推移

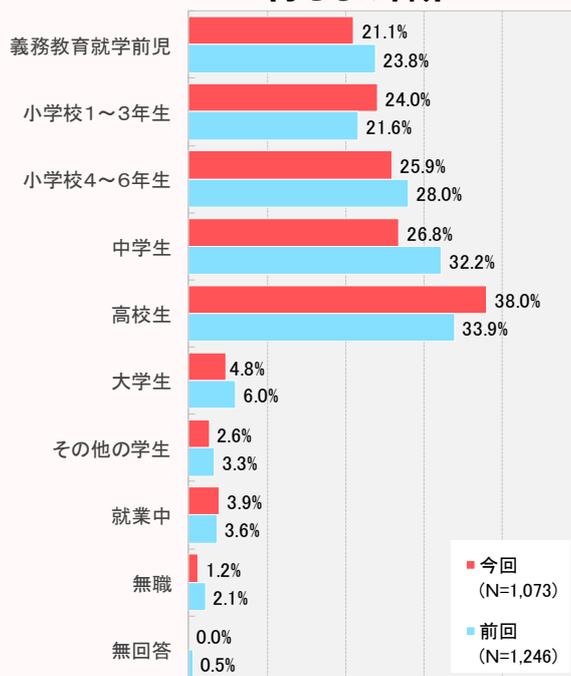
- 平成30年4月時点における母子家庭の世帯数は13,387世帯で、平成26年4月時点から190世帯（1.4%）増加。

## 2 母子家庭の子どもの状況

- 子どもの数は「1人」の世帯が45.3%と最も多い。
- 世帯の子どもの数の平均は1.9人で、前回調査（1.8人）より0.1ポイント増加。
- 子どもの年代は「高校生」が38.0%と最も多く、次いで「中学生」が26.8%。



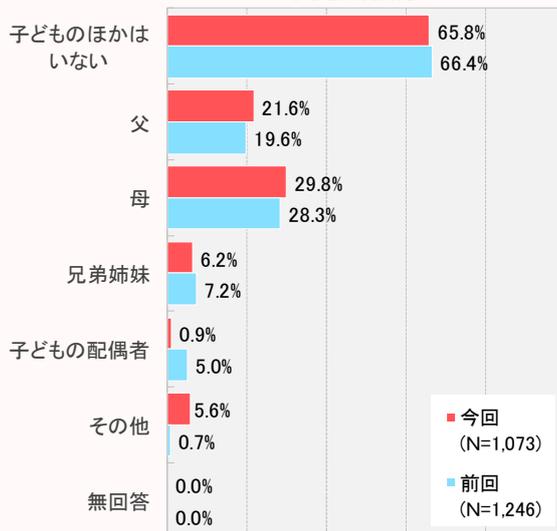
【子どもの年代】



## 3 家族構成

- 「子どものほかはいない」が65.8%と最も多い。前回の調査に比べ、「父」・「母」と同居している世帯は増加。
- 家族の人数の平均は3.5人で前回調査（3.4人）より0.1ポイント増加。

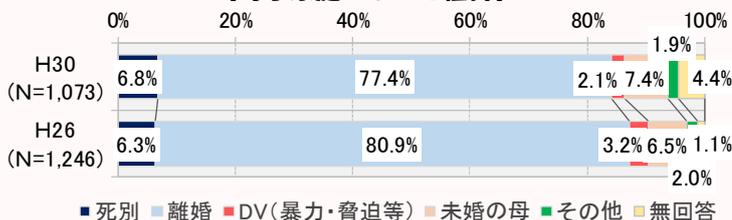
【家族構成】



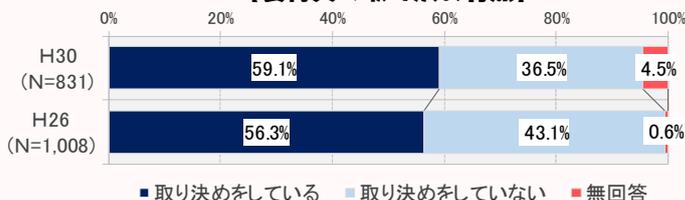
## 4 母子家庭になった経緯

- 「離婚」が77.4%と最も多く、次いで「未婚の母」が7.4%、「死別」が6.8%。
- 前回調査に比べ「離婚」が3.5ポイント減少。

【母子家庭になった経緯】



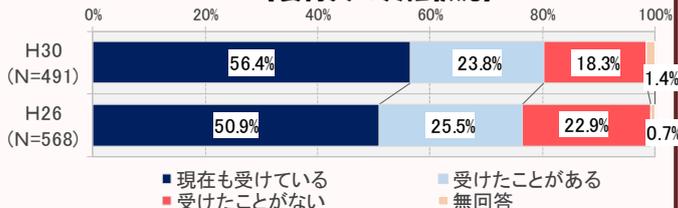
【養育費の取り決め有無】



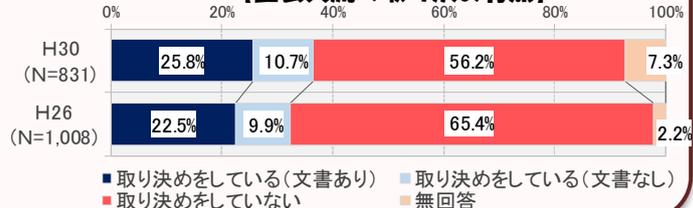
## 5 養育費および面会交流の状況

- 養育費の取り決めをしている人は前回調査から2.8ポイント増加。
- 養育費の取り決めをしている人のうち養育費を現在も受けている人は5.5ポイント増加。
- 面会交流の取り決めをしている人（文書あり、文書なしとも）は前回調査から4.1ポイント増加。

【養育費の受給状況】



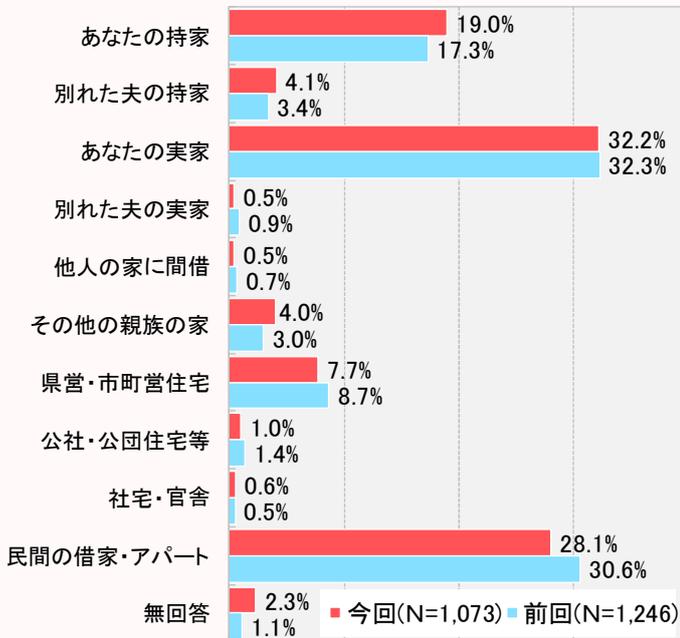
【面会交流の取り決め有無】



## 6 現在の住居

- 「あなたの実家」が32.2%と最も多く、次いで「民間の借家・アパート」が28.1%。
- 前回調査に比べ「あなたの持家」は1.7ポイント増加、「民間の借家・アパート」は2.5ポイント減少。

【現在の住居】



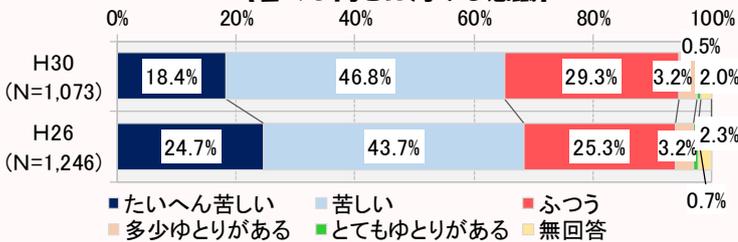
## 8 所得と生計の状況

- 母の年間勤労収入は、「200万円～300万円未満」が24.8%と最も多く、次いで「100万円～200万円未満」が24.5%。

## 9 暮らし向きに対する意識

- 暮らし向きは前回調査に比べ「たいへん苦しい」が6.3ポイント減少、「ふつう」が4.0ポイント増加。

【暮らし向きに対する意識】



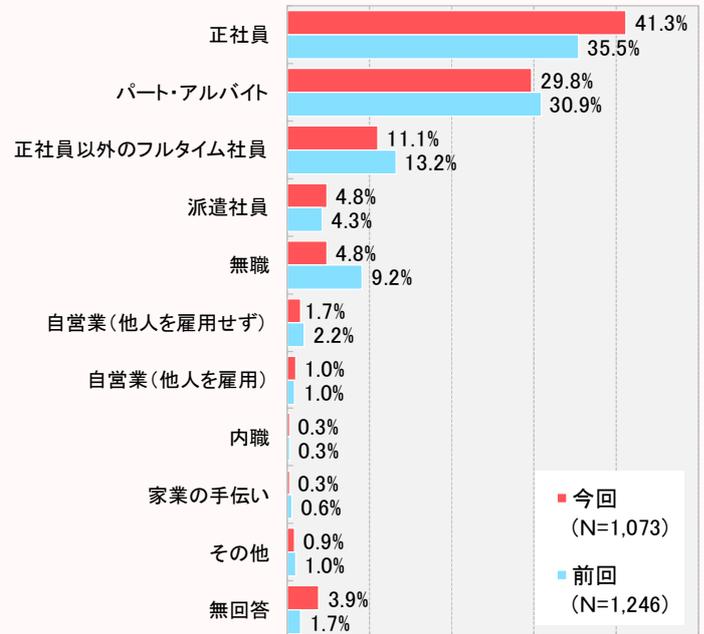
## 10 子どもに対する進学先の希望

- 子どもに対する進学先の希望は「大学・大学院」が43.1%と最も多く、次いで「高校」が24.4%。

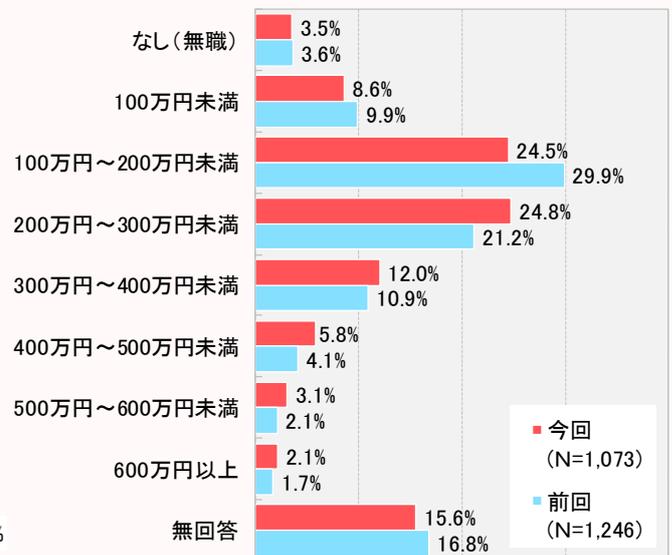
## 7 母の就労状況

- 現在の母の就労形態は、「正社員」が41.3%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が29.8%。
- 前回調査に比べ「正社員」が5.8ポイント増加。

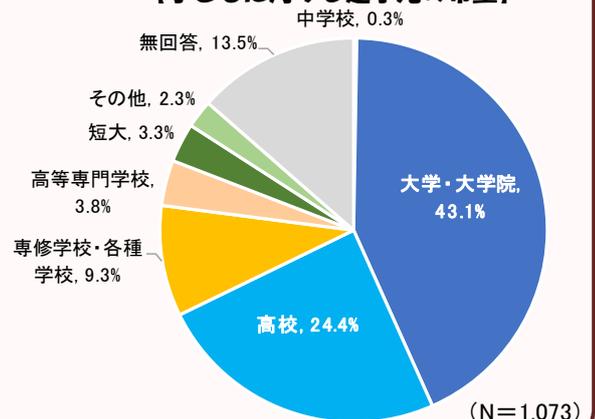
【現在の母の就労形態】



【母の年間勤労収入】



【子どもに対する進学先の希望】



## 1 1 母子福祉施策等

- 母子家庭のために必要と感じている施策は「子どもの学費、通学費への援助」が63.3%と最も多く、次いで「年金、児童扶養手当等の増額」が52.9%、「福祉医療制度（マル福）の充実」が48.4%。
- 前回調査に比べ「福祉医療制度（マル福）の充実」が6.6ポイント、「子どもの学費、通学費への援助」が4.4ポイント増加、「年金、児童扶養手当等の増額」が5.2ポイント、「母子家庭の優先雇用、技術・資格取得のための援助」が6.6ポイント減少。

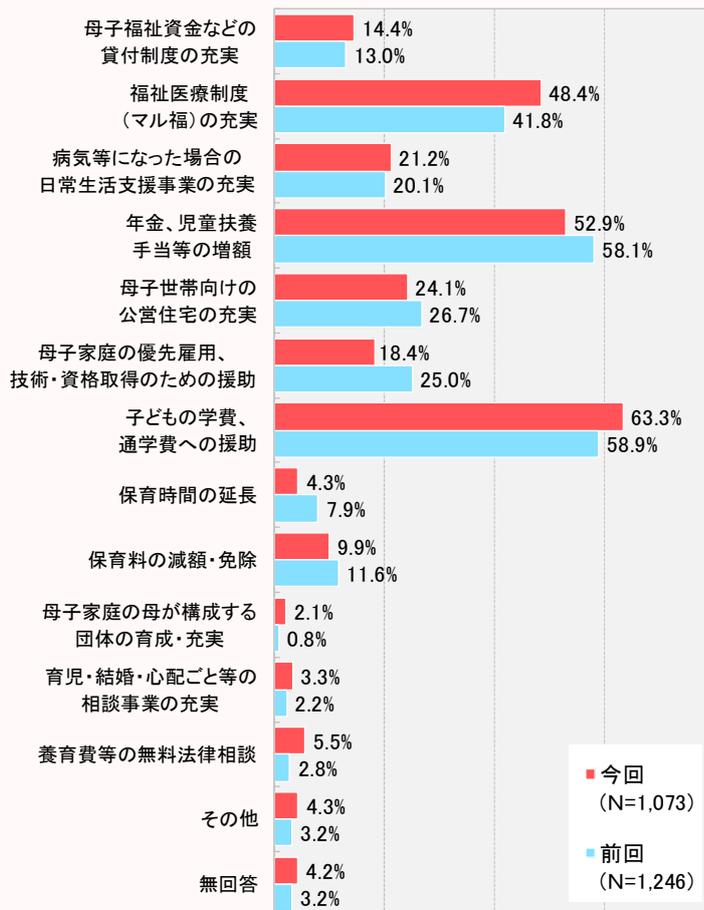
## 1 2 悩んでいること

- 悩んでいることで1位の項目は、「生活費」が49.6%と最も多く、次いで「子どものこと」が16.4%。
- 前回調査に比べ「住宅」が2.0ポイント、「子どものこと」が1.4ポイント増加、「仕事」が1.7ポイント減少。

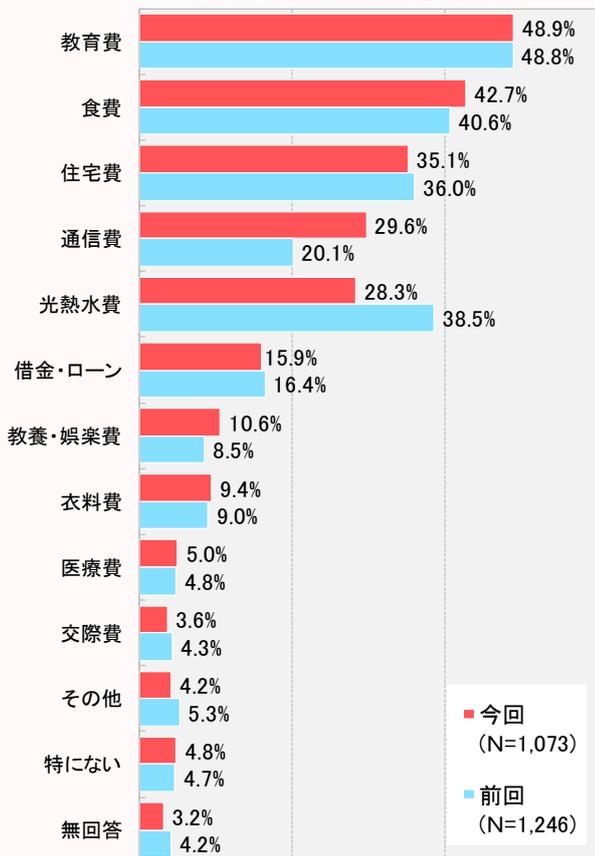
## 1 3 家計で負担に感じる費用

- 「教育費」が48.9%と最も多く、次いで「食費」が42.7%。
- 前回調査に比べ「通信費」が9.5ポイント増加、「光熱水費」が10.2ポイント減少。

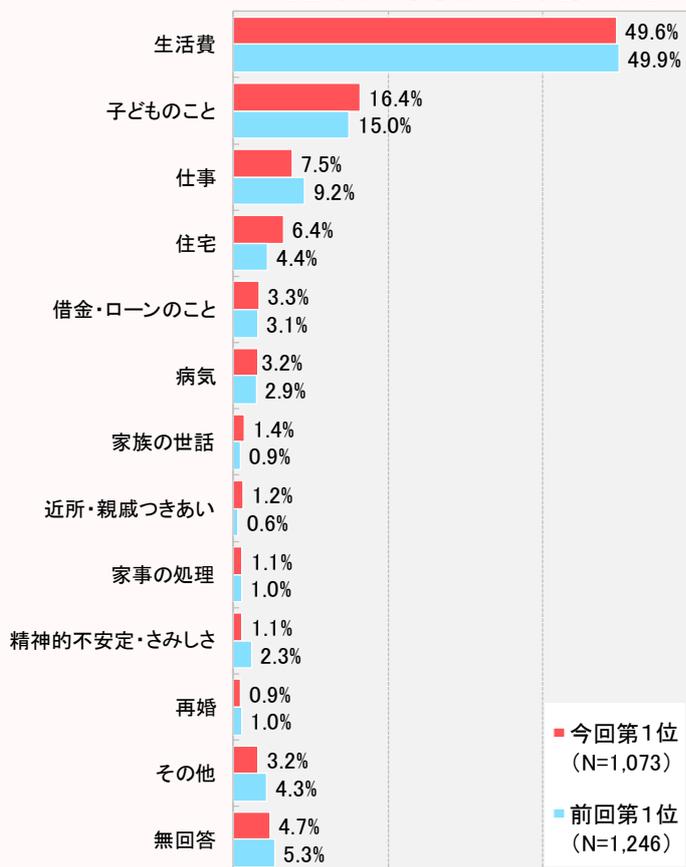
【母子家庭のために必要と感じている施策】



【家計で負担に感じる費用】



【悩んでいること（第1位のみ）】



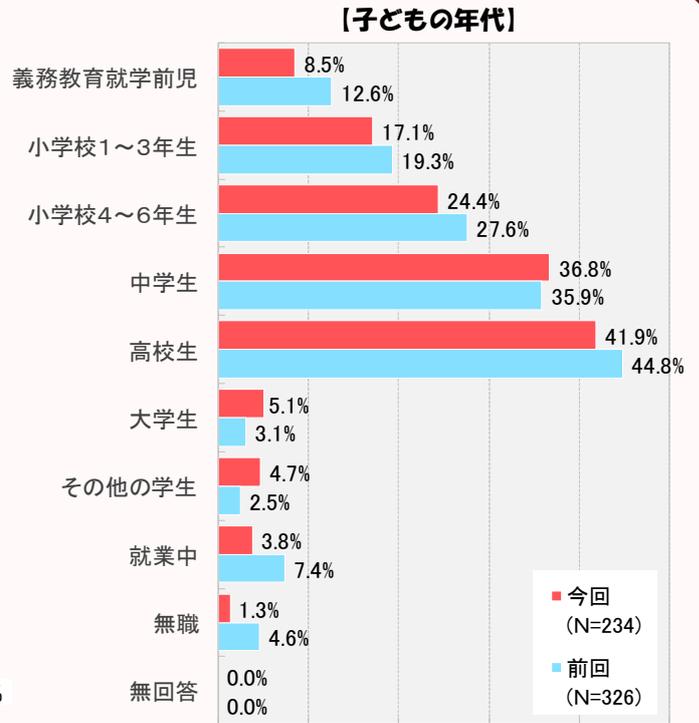
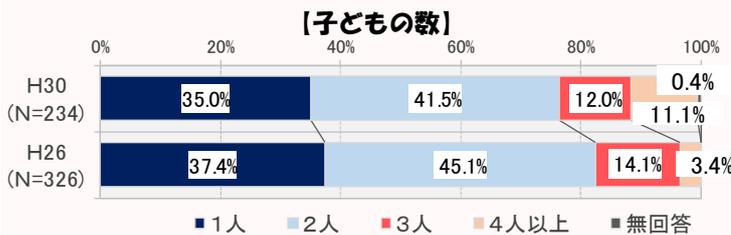
# III 父子家庭の生活実態

## 1 父子家庭の世帯数推移

- 平成 30 年 4 月時点における父子家庭の世帯数は 1,173 世帯で平成 26 年 4 月時点から 82 世帯 (6.5%) 減少。

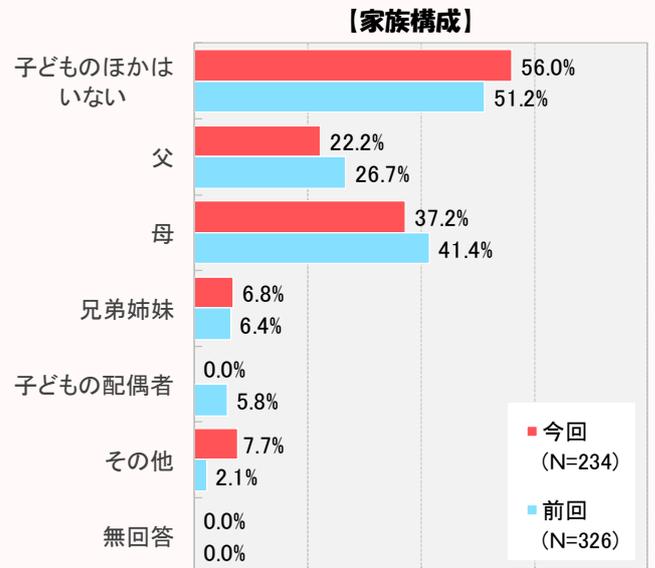
## 2 父子家庭の子どもの状況

- 子どもの数は「2 人」の世帯が 41.5% と最も多い。
- 世帯の子どもの数の平均は 2.0 人で、前回調査 (1.8 人) より 0.2 ポイント増加。
- 子どもの年代は「高校生」が 41.9% と最も多く、次いで「中学生」が 36.8%。



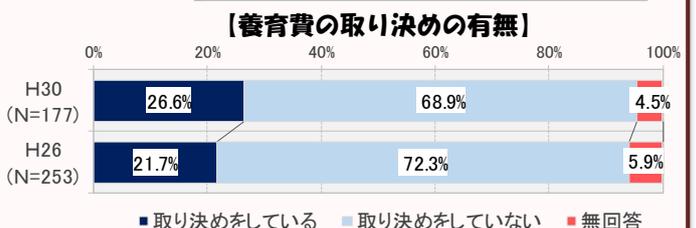
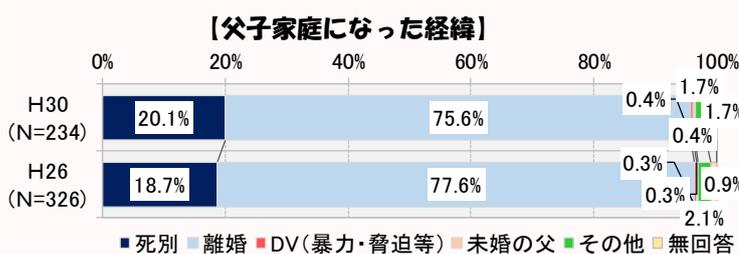
## 3 家族構成

- 「子どものほかはいない」が 4.8 ポイント増加。
- 一方、「父」「母」と同居している世帯は減少。
- 家族の人数の平均は 3.8 人で前回調査 (3.7 人) より 0.1 ポイント増加。



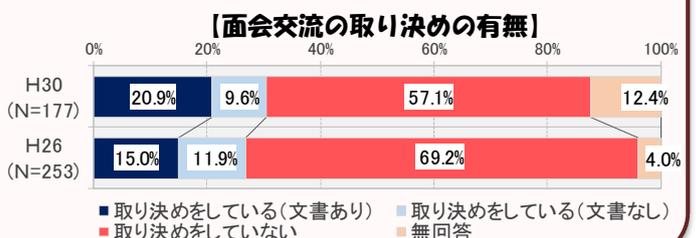
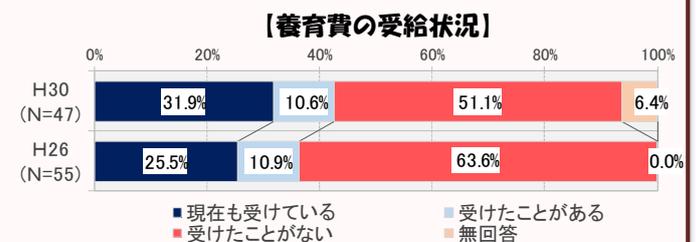
## 4 父子家庭になった経緯

- 「離婚」が 75.6% と最も多く、次いで、「死別」が 20.1%。
- 前回調査に比べ「離婚」が 2.0 ポイント減少。



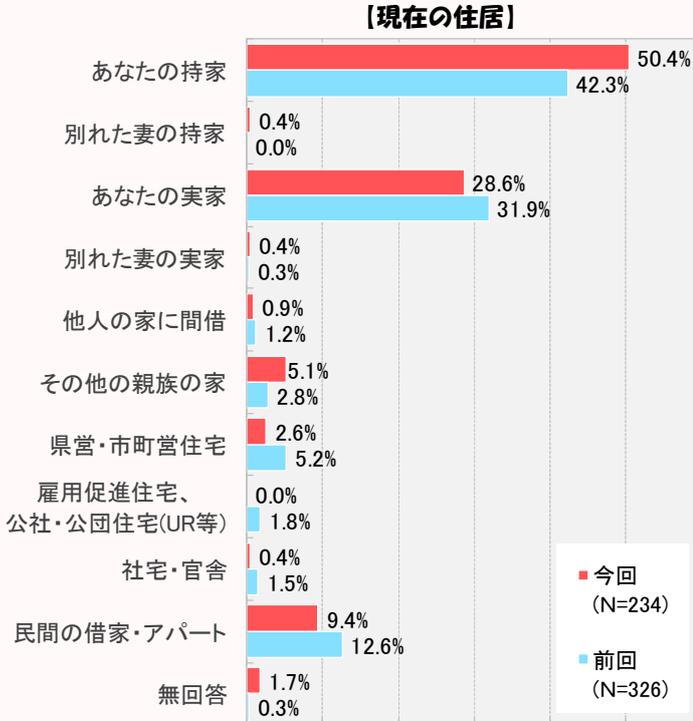
## 5 養育費および面会交流の状況

- 養育費の取り決めている人は前回調査から 4.9 ポイント増加。
- 養育費の取り決めている人のうち養育費を現在も受けている人は 6.4 ポイント増加。
- 面会交流の取り決めている人 (文書あり、文書なしとも) は前回調査から 3.6 ポイント増加。



## 6 現在の住居

- 「あなたの持家」が50.4%と最も多く、次いで「あなたの実家」が28.6%。
- 前回調査に比べ「あなたの持家」は8.1ポイント増加、「あなたの実家」は3.3ポイント減少。

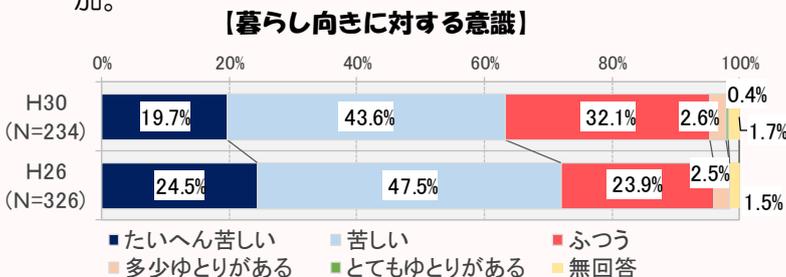


## 8 所得と生計の状況

- 父の年間勤労収入は、「300万円～400万円未満」が21.8%と最も多く、次いで「400万円～500万円未満」が15.0%。

## 9 暮らし向きに対する意識

- 暮らし向きは前回調査に比べ「苦しい」が3.9ポイント、「たいへん苦しい」が4.8ポイントの減少、「ふつう」が8.2ポイント増加。

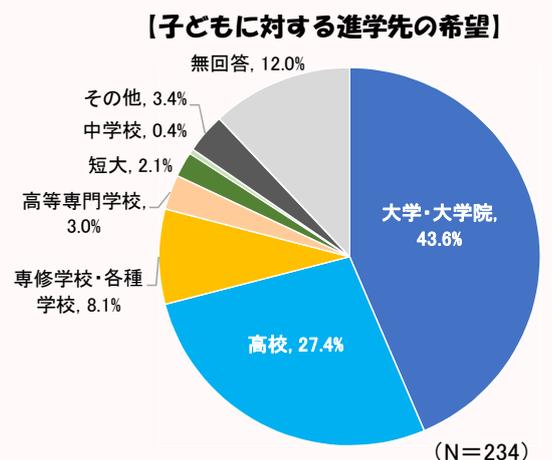
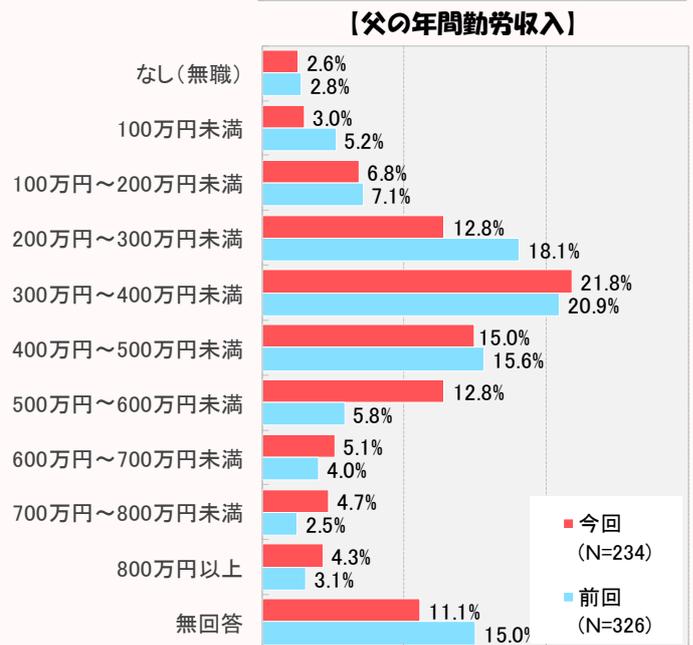
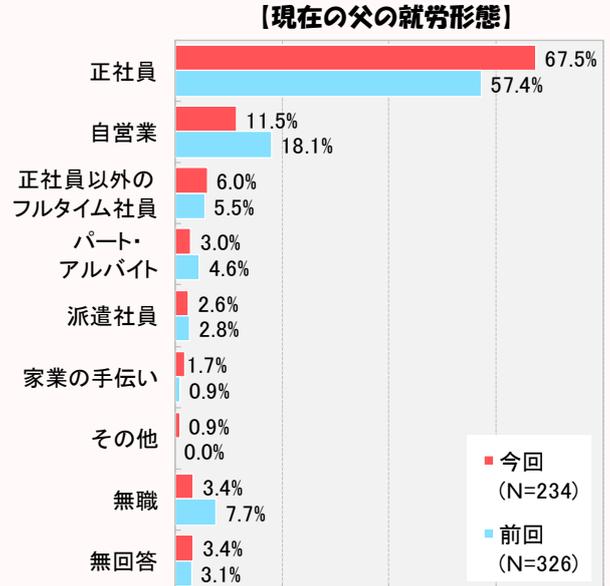


## 10 子どもに対する進学先の希望

- 子どもに対する進学先の希望は「大学・大学院」が43.6%と最も多く、次いで「高校」が27.4%。

## 7 父の就労状況

- 現在の父の就労形態は、「正社員」が67.5%と最も多い。前回調査に比べ「正社員」が10.1ポイント増加、「自営業」が6.6ポイント減少。



## 1 1 父子福祉施策等

- 父子家庭のために必要と感じている施策は「子どもの学費、通学費への援助」が61.1%と最も多く、次いで「年金、児童扶養手当等の増額」が49.6%、「福祉医療制度（マル福）の充実」が44.9%。
- 前回調査に比べ「子どもの学費、通学費への援助」が15.1ポイント増加。

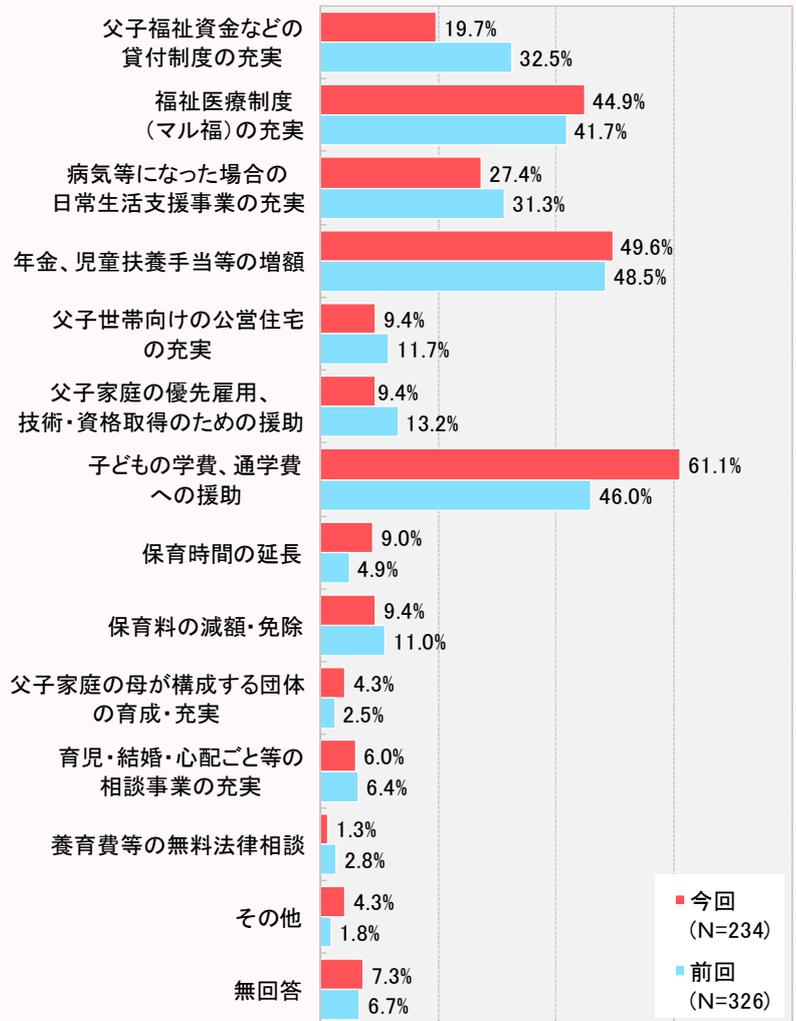
## 1 2 悩んでいること

- 悩んでいることで1位の項目は、「生活費」が38.5%と最も多く、次いで「子どものこと」が24.4%。
- 前回調査に比べ「生活費」は3.5ポイント減少、「子どものこと」が6.0ポイント増加。

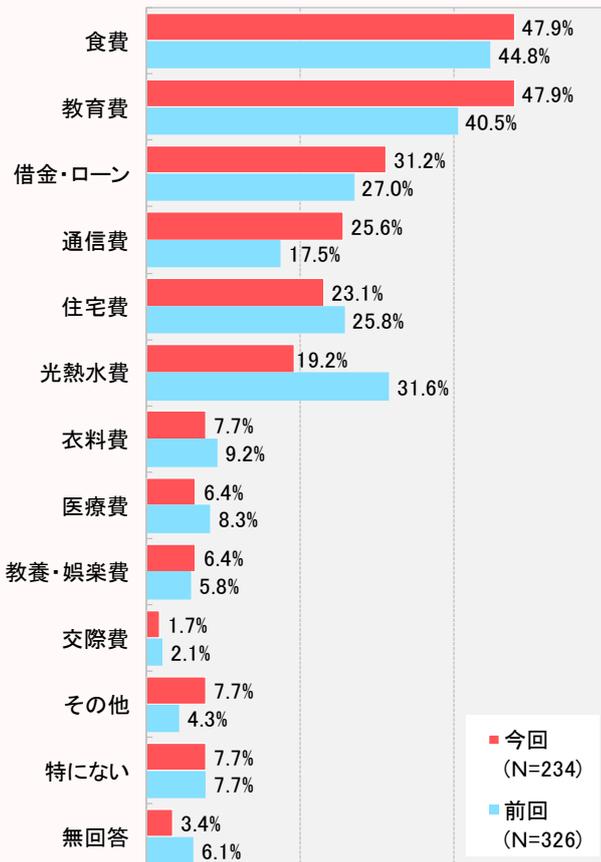
## 1 3 家計で負担に感じる費用

- 「食費」、「教育費」が47.9%と最も多く、次いで「借金・ローン」31.2%。
- 前回調査に比べ「通信費」が8.1ポイント、「教育費」が7.4ポイント増加、「光熱水費」が12.4ポイント減少。

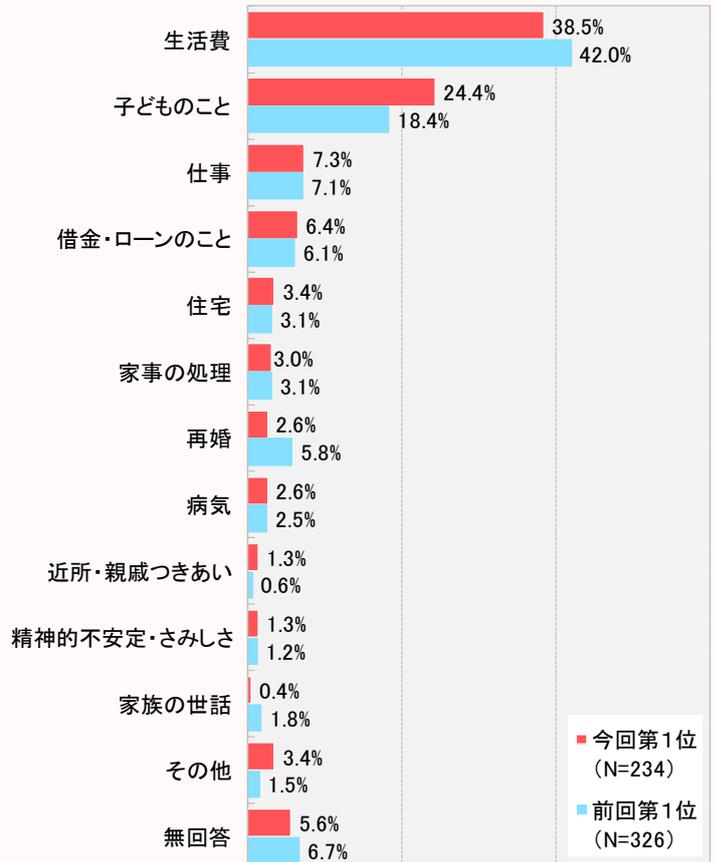
【父子家庭のため必要と感じている施策】



【家計で負担に感じる費用】



【悩んでいること（第1位のみ）】



# IV ひとり暮らし寡婦の生活実態

## 1 ひとり暮らし寡婦の世帯数推移

●平成30年4月時点におけるひとり暮らし寡婦の世帯数は248世帯で平成26年4月時点の231世帯から17世帯(7.4%)増加。

## 2 現在の住居

●「あなたの持家」が52.6%で最も多く、次いで「県営・市町営住宅」が21.8%、「民間の借家・アパート」が12.8%。

●前回調査に比べ、「あなたの持家」が5.2ポイント増加、「あなたの実家」は4.6ポイント減少。

## 3 就労状況

●現在のひとり暮らし寡婦の就労形態は「パート・アルバイト」が37.6%と最も多く、次いで「正社員以外のフルタイム社員」20.3%。

●前回調査に比べ、「正社員以外のフルタイム社員」が7.3ポイント、「正社員」が6.9ポイント増加、「無職」が19.2%減少。

## 4 所得と生計の状況

●年間勤労収入は「100万円～200万円未満」が33.8%と最も多く、次いで「200万円～300万円」が18.8%。

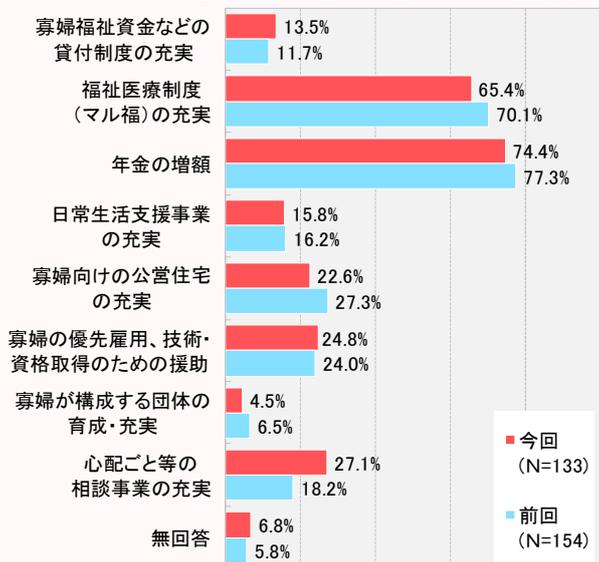
●暮らし向きに対する意識は「苦しい」が41.4%と最も多く、次いで「ふつう」が35.3%。

## 5 寡婦福祉施策等

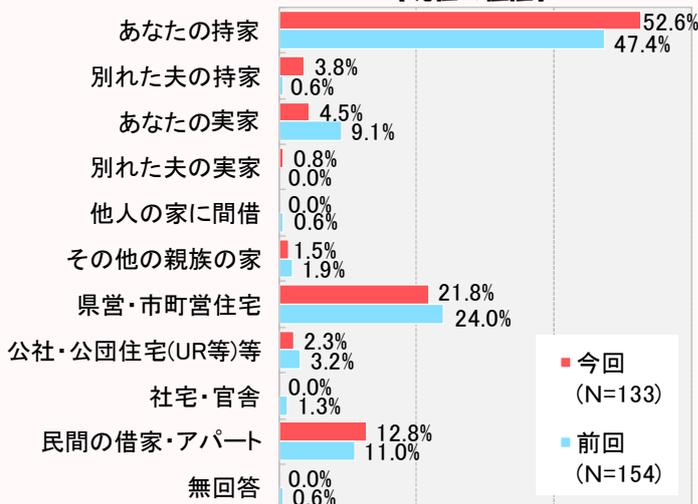
●寡婦家庭のために必要と感じている施策は「年金の増額」が74.4%で最も多く、次いで「福祉医療制度(マル福)の充実」が65.4%。

●前回調査に比べ、「心配ごと等の相談事業の充実」が8.9ポイント増加。

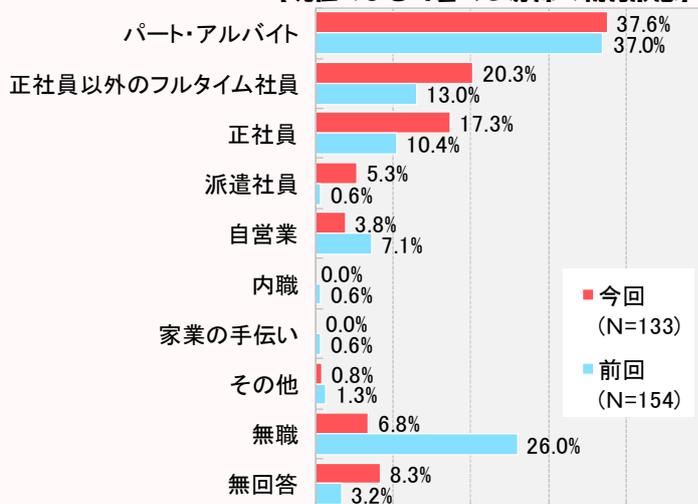
【寡婦家庭のために必要と感じている施策】



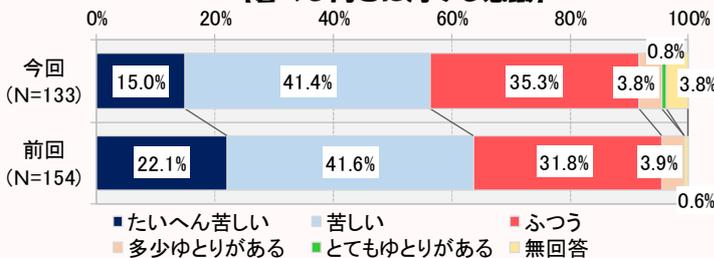
【現在の住居】



【現在のひとり暮らし寡婦の就労形態】



【暮らし向きに対する意識】



【年間勤労収入】

